

報道関係者各位

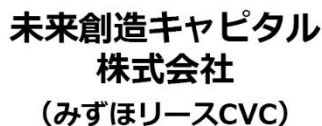
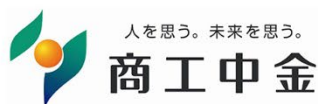
2022 年 9 月 30 日

株式会社アールティ

アールティ、シリーズ C ラウンドにおいて資金調達を実施

株式会社アールティ（東京都千代田区、代表取締役 中川友紀子、以下アールティ）は、シリーズ C ラウンドで、複数の投資家による第三者割当増資、及び金融機関からの借入による資金調達を行いました。

本ラウンドでは、既存投資家のみずほキャピタル株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 大町祐輔）が運営するみずほ成長支援第 4 号投資事業有限責任組合に加え、新たにオイシックス・ラ・大地株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：高島 宏平）の投資子会社 Future Food Fund 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：松本浩平）が運営する Future Food Fund 1 号投資事業有限責任組合、JMTC キャピタル合同会社（東京都中央区、代表社員：日本材料技研株式会社 職務執行者 浦田興優）が運営する JMTC ハードテック 2 号投資事業有限責任組合、未来創造キャピタル株式会社（みずほリース CVC、東京都港区、代表取締役 竹内信房）、株式会社ヒライホールディングス（熊本県熊本市、代表取締役社長 平井浩一郎）を第三者割当増資引受先としています。加えて、株式会社商工組合中央金庫（東京都中央区、代表取締役社長 関根正裕）からの借入を実施しました。



アールティの事業

アールティは「Life with Robotーロボットのいるくらしーの実現」をミッションに掲げ、ロボット・AI に関する教育事業や自社開発、受託開発事業などを幅広く展開しています。

現在はミッション実現に向けたマイルストーンとして、特に「Work with Robotーロボットとともに働くー」に取り組み、製造業におけるラストワンハンド（※1）の領域を、ロボット・AI の最先端技術によって自動化・省力化し、人が働きやすい環境にすることを目指しています。

人型協働ロボット Foodly の開発で培った不定形かつ柔軟なものを取り扱う技術を活かして、近年はロボット単体だけでなくラインを含めた開発にも着手し、食品工場に限らず一般的な製造ラインも手がけています。

さらにロボット・ラインの開発導入に留まらず、教育事業で培ったノウハウを活かして、エンジニア育成、現場担当者や管理職への DX に関する知識提供、コンサルティング、リカレント教育などを行い、ロボットとともに働く人材のスキルアップにも力を入れています。事業の詳細は別紙資料をご確認ください。

この度の資金調達を受け、これらの取り組みの更なるクオリティ向上に取り組み、人とロボットが協調しながら、仕事・生活を便利にしていく未来の実現に貢献してまいります。

(※1) ラストワンハンド：製造業において、ラインの各工程で機械化・自動化が進んでいても最後には人間が目と手を使って軽作業を行っていることから、その領域を物流業界の「ラストワンマイル」になぞらえて名付けたアールティの造語。



資金調達の目的と今後の展開

今回の資金調達により、以下を行って参ります。

1. 食品盛付ロボット Foodly の量産化に向けた開発・製造・保守メンテナンス体制構築
2. 各種要素技術と人材育成のためのハードウェア/ソフトウェア研究開発強化
3. エンジニア、営業部門、管理部門をはじめとする各部門の採用強化

第三者割当増資引受先

- Future Food Fund 1 号投資事業有限責任組合
- JMTC ハードテック 2 号投資事業有限責任組合
- 未来創造キャピタル株式会社（みずほリース CVC）
- みずほ成長支援第 4 号投資事業有限責任組合
- 株式会社ヒライホールディングス

借入金融機関

- 株式会社商工組合中央金庫

採用情報

アールティでは事業拡大に伴い、エンジニア、営業部門、管理部門をはじめとする各ポジションの採用を強化しています。募集職種など、詳細は下記 URL よりご参照ください。

アールティ採用情報: <https://rt-net.jp/company/recruit/>

※本リリースに記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

本リリースに関するお問合せ先 土日祝を除く 9:30～18:30

株式会社アールティ 〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-9-2 末広ビル 3F

担当: 渡邊(広報) TEL: 03-6666-2566 E-Mail: info@rt-net.jp

リリース URL: <https://rt-net.jp/notice/20220930/>

別紙資料

| アールティの事業詳細

アールティは、製造業やサービス業を取り巻く多くの企業が直面する、人材活用や生産性の低い作業の自動化、省人化、省力化の課題解決をするため、また、新たな産業の創出へ向けた AI・ロボティクス技術の向上を行い企業や教育機関などに提供するため、ハードウェアとソフトウェア両方の技術を高度に融合した各種 AI・ロボティクス技術、ロボットの開発、教育、サポートなどを行っています。

1. 現場の自動化・省力化のための開発、開発支援

主に食品工場などの製造業向けに、既存設備を活かしながら行うことができるスマートファクトリー化、自動化、省人化、省力化の提案を行っています。

また装置メーカー向けに、AIを含むソフトウェアやハードウェアの共同開発なども多く手掛けています。特に近年注目されているロボット用のソフトウェアプラットフォーム「ROS」に関しては、創業より教育事業で培ってきたノウハウを用いて自社の教育研究向けロボットに採用していることもあり、他社ロボットメーカーの ROS オフィシャルサポーター（※1）になるほどの技術力を持って、開発、サポート、コンサルティングを行っています。

※1 参考:2019/11/07 アールティ リリース https://rt-net.jp/notice/cobotta_ros/

【プロダクト事例】

①人型協働ロボット「Foodly」（読み：フードリー）

不定形な惣菜を認識してピッキングができる Foodly は、食品工場の環境や扱う食材の特性を理解して開発したサービスロボットです。

製造ラインで食材を容器に盛り付け、あるいは投入する用途で、実際に弁当やパウチ入り惣菜の製造現場に導入されています（※2）。

※2 参考:2022/03/29 アールティ リリース <https://rt-net.jp/notice/20220329/>



人型協働ロボット Foodly

動画: <https://youtu.be/htJ2uQhdlxQ>

②人協働ロボット COBOTTA® PRO を使った「冷凍フライ投入システム」

食品工場において人手で行われている、冷凍フライの投入作業（ピッキングからフライヤー投入まで）を自動化するシステムです。番重（食品用コンテナ）にばら積みされた冷凍フライをカメラでひとつずつ認識してアームロボットがコンベア上へピック＆プレースします。コンベアはシステムと連携しており、ピッキング状況を把握しながら自動フライヤーに投入します。これにより、熱中症ややけどなどの労働災害の多い現場の危険作業を代替します。

アームロボット本体はデンソーウェーブ社の人協働ロボット「COBOTTA PRO」（読み：コボッタ プロ）を使用し、アールティがばら積み食材取り出しのビジョンシステム、ロボットの軌道生成プログラム、ロボットのハンド部分、投入用コンベアの一連のラインを開発しています。



人協働ロボット COBOTTA PRO を使った
冷凍フライ投入システム

動画：<https://youtu.be/c5bpYkfTA7Q>

株式会社デンソーウェーブ公式 YouTube チャンネルより

2. 新技術を導入したい現場エンジニア・管理の人材育成

AI 技術の普及が進み、AI がサポートする場面も増えている製造現場においては、エンジニアはもとより、現場を管理する非エンジニアの管理職にも IT リテラシー、AI、DX に関する知識がビジネススキルとして求められています。

昨今のスマートファクトリー化における技術革新や DX は、通信やデータ化などの IT 技術のみならず、ロボットの導入、建物との連携など幅広い技術に広がっており、管理職や経営者がそれらを社内共通の知識として得ることは、進歩し続ける技術を積極的に導入し、流動性の高い様々な技術の中から、従業員に適切な教育・研修を受けさせるために重要であるとアールティは考えています。

アールティでは、高等専門学校、大学、企業などを対象とした高度人材育成を目的として、教育研究向けの多くのロボット教材（ハードウェアやオープンソースのソフトウェアなど）、さらにそれらを扱うための知識やノウハウを共有するセミナーや E-learning など教育プログラムを取り揃えています。

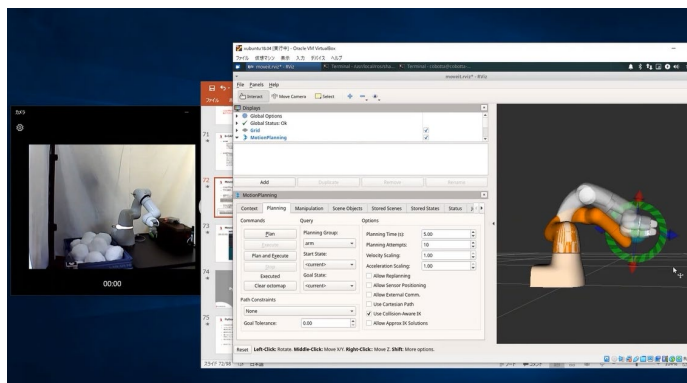
企業向けには、各企業の持つ技術や受講者の属性に合わせて個別のカスタムセミナーを実施するほか、開発体験、開発サポート、共同開発を通じた現場のリスクリリング、インターンシップ向けの教材の開発なども行っています。

2025 年には大学入試でプログラミングが実施されるなど、スキル格差が懸念される将来の人材獲得に向け、エンジニア・非エンジニア問わず既存社員向けへの教育を行いたいという要望にお応えしています。

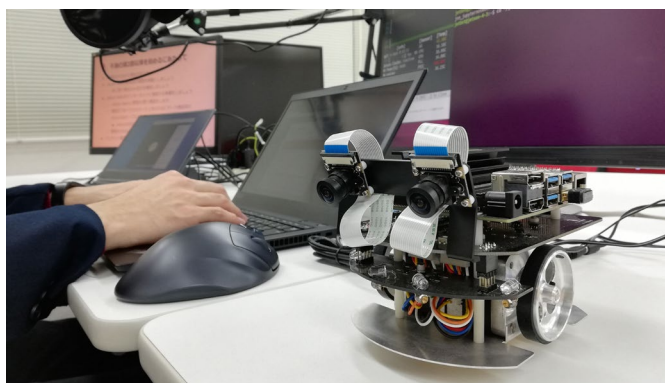
【プロダクト事例】

①ROS セミナー

自社開発の教育研究向け移動型ロボット「Raspberry Pi Mouse」（読み：ラズベリーパイマウス）や「Jetson Nano Mouse」（読み：ジェットソンナノマウス）、デンソーウェーブ社の人協働ロボット「COBOTTA®」（読み：コボッタ）を教材に、ロボット用のソフトウェアプラットフォーム「ROS」を用いた開発の基礎、環境構築などを提供し、受講者がハンズオンで実際にロボットを操作しながら学べるセミナーを開催しています。



COBOTTA セミナー
—ROS MoveIt で動かす COBOTTA—



ROS ロボット入門講座
—AI 関連ソフト×Jetson Nano Mouse—

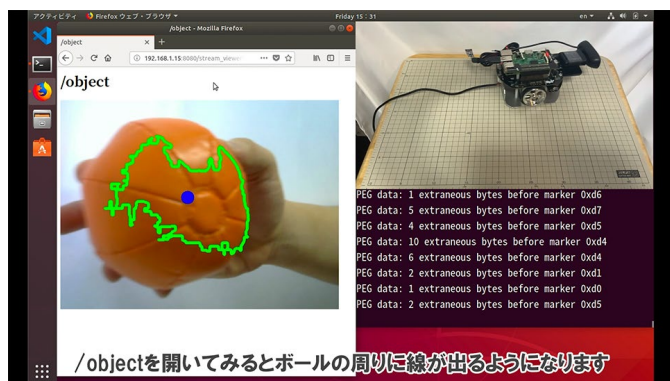


ハンズオンセミナー(オンライン)受講イメージ

②E-learning 教材

自社開発の教育研究向け移動型ロボット「Raspberry Pi Mouse」を題材に、セットアップの方法から開発環境の構築、ROS を使った開発例の体験などを、受講者の手元で実機を用いながら受講できる E-learning 教材を提供しています。

ロボット開発を初めて間もない、情報収集の仕方に迷ってしまう初心者や、研修生を一度に会場へ集めての受講をしたいがコロナ禍やスケジュールの都合で難しい企業、学生への基礎技術指導を一定レベルで継続的に行いたい高等専門学校、大学などを対象としています。



プロロボ道 E-learning ラズパイマウス講習動画

動画: <https://youtu.be/MLRx5JOXjOA>

株式会社アールティ 会社概要

「Life with Robotーロボットのいる暮らしー」の実現を目指して、最先端の AI&Robotics における技術開発に挑戦し、AI・サービスロボット分野での高度人材育成から、教育・サービスロボットの自社開発、受託開発まで幅広い事業展開をしています。

近年はサービスロボットの教育や受託開発で培った技術やノウハウを活かし、食品工場で人手不足を解消するための協働ロボットや、工場向けの AI ビジョンシステム、製造ラインなどの開発にも力を入れています。

会社名: 株式会社アールティ

代表者: 代表取締役 中川友紀子

設立日: 2005 年 9 月

事業内容: ロボット及び人工知能に関する教育事業、自社開発事業、受託開発事業など

URL: <https://rt-net.jp/>

関連リリース

株式会社商工組合中央金庫

https://www.shokochukin.co.jp/assets/pdf/nr_220930_03.pdf

Future Food Fund 1 号投資事業有限責任組合

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000685.000008895.html>

未来創造キャピタル株式会社(みずほリース CVC)

https://www.mizuho-ls.co.jp/ja/news/news9162685404630941870/main/0/link/220930_1000.pdf

以上

※本資料に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。